

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20229005	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	High throughput sequencerによる癌のエピゲノム解析	研究代表者 (所属・職)	西川 伸一（理化学研究所・幹細胞研究グループ・グループディレクター）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>非特異的な DNA 脱メチル化剤が骨髄異形成症候群（MDS）の治療に奏効するメカニズムに、遺伝子特異性が存在することに着目した研究であり興味深いテーマである。しかし、当初の目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。</p> <p>当初、神戸先端医療センターと神戸大学の研究者と準備していた DNA 脱メチル化剤であるデシタピンの臨床試験が中止になり、臨床側との研究体制が長崎大学との共同研究に変更されたことが、研究の遅延の原因の一つと思われる。</p> <p>現在まで本研究費による論文発表はないが、研究代表者のこれまでの研究業績から考えて、実験が稼働し始めた現在、基盤研究（S）に相応しい成果が期待できる。</p>	